

平成 30 年度 口丹波中学校サッカー大会要項

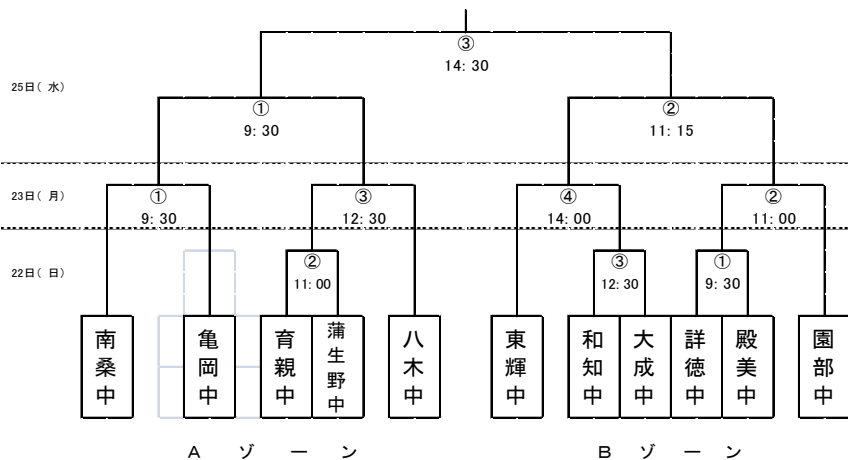
1. 期 日 平成 30 年 7 月 22 日(日)・23 日(月)・25 日(水)・26 日(木) (予備日)
 2. 後 援 一般社団法人 京都府サッカー協会 (予定)
 3. 会 場 園部公園陸上競技場 (22 日・23 日・25 日)
 園部公園多目的グラウンド (予 備 日 26 日)

4. 日 程 平成 30 年 7 月 22 日(日) 開 会 式 9 : 00 試合開始 9 : 30
 平成 30 年 7 月 23 日(月) 試合開始 9 : 30
 平成 30 年 7 月 25 日(水) 試合開始 9 : 30 閉 会 式 16 : 00

5. 大会役員 顧 問 木上 晴之(南丹教育局)
 会 長 白波瀬和彦(亀岡中学校)
 副 会 長 小森 誠(和知中学校)
 原田 正己(詳徳中学校) 村田富三昭(美山中学校)
 大会委員長 瀬野 光照(南桑中学校)
 審 判 長 湯浅 佑介(蒲生野中学校)
 審 判 員 辻本 和久(園部) 赤羽 幸夫(殿田) 仁頃 駿一(東輝)
 疋田 純也(八木) 笠原 俊宏(育親) 廣田 陽人(育親)
 松本 貞治(詳徳) 天野 浩志(大成) 吉村 太一(大成)
 徳田 佳則(詳徳) 坪井 彰彦(東輝) 船越 英志(和知)
 中澤 利哉(東輝) 川勝 義隆(園部) 國府 秀幸(和知)
 山田 啓太(八木) 桃井 充洋(美山) 松重 吉剛(蒲生野)
 小川 雄大(亀岡) 菅井 彰人(殿田) 古志 優佳(亀岡)

- 救 護 22 日 林 あゆみ(殿田)
 23 日 北村 智子(園部)
 25 日 山崎 幸代(八木) 26 日(予備日) 林 あゆみ(殿田)

6. 組み合わせ



7. 大会規定

- ルールは、平成 30 年度日本サッカー協会競技規則に準じる。
- 試合時間は 30 分の前後半、ハーフタイム 5 分とし、同点の場合は、京都府大会に準ずる延長戦(5 分の前後半)を行い、それでも決しない場合は、PK 戦で勝敗を決定する。
- 選手登録メンバーは最大 20 名の選手とし、選手交代は自由とする。尚、選手登録は試合ごとに行い、前の登録と違ってよい。
- 選手登録メンバー表は、各試合の開始前に本部に 2 部提出し承認を受けること
- ベンチには、登録選手 20 名および監督と顧問、当該校管理職の先生、許可された外部コーチ 1 名が入れるものとする。尚、3 年生の生徒についてはこの限りではない。ただし、ベンチ入りする場合には、大会本部と相手チームの承認を受けること。
- 警告を同じ試合に 2 回受けた選手は退場となり、次の 1 試合に出場できない。また、警告を 2 試合以上にわたって、通算 2 回受けた選手も、次の 1 試合に出場できない。
- 1 度に退場を受けた選手は、最低次の 1 試合に出場できなくなり、今後の措置を規律委員会にて決定する。規律委員会とは、大会委員長、審判長、亀岡および南船専門委員長、対戦校顧問、試合審判員とする。
- クーリングブ레이크を前後半 1 度ずつ約 3 分間で行うが、選手はベンチに戻り給水を行っても良い。なお指導者からのコーチングを行っても良い。
- 選手宣誓は、前年度当大会優勝校(南丹市立園部中学校)が行う。
- 表彰は、優勝校に優勝盾と賞状、2 位、3 位(2 チーム)に賞状を与える。
- フェアプレー賞を選出し、閉会式にてそのチームを発表する。フェアプレー賞とは、試合中の態度、ルールの遵守、アップや試合後のマナー等を考慮し選出するものである。
- 当大会優勝校及び準優勝校は、7 月 29 日、30 日、31 日(予備日)に口丹波ブロックで行われる第 71 回京都府中学校総合体育大会サッカーの部の出場権を得る。
- 事情により競技規則に触れる場合は、開会式までに本部まで申し出ること。
- ベンチはトーナメント表の左のチームがピッチに向かって左のベンチを使用すること。
- 口丹波中学校体育連盟「大会参加申し合わせ事項」を遵守すること。

8. その他

- 亀岡市春季大会、南丹・船井大会の上位各 2 校が、今大会のシード校である。
- ユニフォームまたは、各校の体操服で参加のこと。ただし、フィールドプレーヤーのシャツ、パンツ、ソックスはそれぞれ全て同じものに統一すること。
- 各校の引率者は顧問と 1 名以上の先生とする。
- 装飾品(ピアス、チタンネックレス、ミサンガ、ヘアバンド等)の着用は一切認めない。
- 爪を短く切って参加すること。また、穴あきスパイクでの出場は、安全面の観点からこれを認めない。
- 大会で使用する氷(怪我等)は、各校または、個人で用意すること。
- 開会式には、各校 1 名以上の選手が参加すること。尚、ユニフォームを着用するものとする。
- 熱中症対策については、選手、役員共に、各校で万全の対策をとること。
- 警報等で大会が中止になった場合は、緊急に専門委員会を招集し、大会運営を検討し、会長・理事長に相談した上で、大会運営を決定する。

※審判割り当て表

試合	主審	副審	第4審	試合	主審	副審	第4審	試合	主審	副審	第4審
①	國府	疋田	吉村	小川	①			①			
②	辻本	仁頃	中澤	古志	②			②			
③	徳田	松本	山田	赤羽	③			③	廣瀬		
④					④						